

車いすバスケットボール審判員の 募集協力をお願い

富山県の車いすバスケットボール競技の普及活動の課題に、審判員不足が長年問題となっております。一般のバスケットボールでも同様の問題であると承知しております。

車いすバスケットボール審判員は2000年に富山県で開催された全国障がい者スポーツ大会に向けて育成されました。2000年以降は、育成が思うようにいかず次第に審判員が辞められていった経緯もあり、現在は2名の審判員が活動されています。

県内での活動は、審判員の育成と共に競技力向上、多くの方々に競技に関心を持って頂く目的に2000年の全国障がい者スポーツ大会に向けて「あいの風 車いすバスケットボール競技会」を開催、現在も継続している他に富山県車椅子バスケットボールクラブが所属する東海北陸ブロックの「定期大会」を持ち回りで富山県でも開催しています。

審判員の派遣は大半を県外の車いすバスケットボール審判員に頼らざるを得ない為、県外審判員に対して宿泊・交通費を大会運営する富山県バスケットボールクラブが多く負担せざるを得ない事を含めて審判員不足は、深刻化を増しており、このままでは車いすバスケットボール審判員が在籍しない事態も免れないと感じています。

そこで現行活動をしておられる審判員の方々対象に、車いすバスケットボール審判講習会を計画し、審判員募集の協力を依頼させていただきたいと考えています。